



週間情報



No.0723

発行日 令和7年6月24日

発行所 全国消防長会

一般財団法人全国消防協会

担当 企画部企画課 03-4500-6622

消防本部の動き

行事

◆ 新消防庁舎等複合施設の竣工式を挙る

桑名市消防本部（三重）

桑名市消防本部では、令和7年5月31日（土）、新消防庁舎等複合施設（消防本部・大山田分署・大山田地区市民センター・大山田まちづくり拠点施設・郵便局）の竣工式を挙りました。

この新庁舎は、津波・高潮浸水地域にあった消防本部を高台に移転し、警防本部室の機能性を高めたほか、事務室にグループアドレスの導入、出動準備室や個室仮眠室を設置するなど、効率的な動線確保と働きやすい職場環境に配慮したものです。

また、併設して防災広場、消防団詰所も整備し、同年6月2日（月）に供用を開始しました。今後も、職員一丸となって地域防災力の向上に努めてまいります。



【竣工式の様子】



【新庁舎】

◆ 新庁舎の竣工式を挙る

三木市消防本部（兵庫）

三木市消防本部では、令和7年6月5日（木）、移転建て替え工事を進めていた三木市消防署吉川分署が完成し、竣工式を挙りました。

この新庁舎は、感染防止対策として仮眠室の完全個室化と衛生面や環境面に配慮するとともに、新たに女性専用の仮眠室、シャワー室、トイレを完備しました。

また、太陽光発電システム、非常用発電機、自家用給油取扱所を整備し、災害時にも業務継続が行えるよう施設を強化しました。

今後も、防災体制のさらなる強化を図るとともに、住民の安全・安心を守るまちづくりに努めてまいります。



【竣工式の様子】



【新庁舎】

訓練

◆ 大規模災害対応消防・救助合同訓練を実施

小山市消防本部（栃木）

小山市消防本部では、令和7年5月28日（水）、29日（木）の2日間、茨城西南広域消防本部と合同で、解体予定の建物を活用した大規模災害対応消防・救助合同訓練を実施しました。

この訓練は、茨城西南広域消防本部と締結している消防相互応援協定により、市町境界線付近で発生した災害に両消防本部の消防隊などが出場することから、相互協力体制の構築および災害対応力の向上を図ることを目的として実施したものです。

当日は、現場活動における機動力や柔軟性が随所に見られ、日頃の訓練成果と高い意識が感じられる訓練となりました。

今後も、多種多様な災害に対応できるように努めてまいります。



【訓練の様子】



【訓練後の記念撮影】

◆ 危険物火災対応訓練を実施

大田市消防本部（島根）

大田市消防本部では、令和7年6月9日（月）、危険物安全週間の一環として、日本三大瓦の一つで、石州瓦の一大産地である大田市水上町周辺において、危険物火災対応訓練を実施しました。

危険物が起因する災害は、爆発的に拡大し、消火が困難であるため、危険物施設を所有する企業と関係機関の連携が重要です。

当日は、地元企業も訓練に参加し、「自然災害（地震）により、屋外タンクから危険物が流出し、火災が発生した。」との想定で、既に用途廃止された屋外タンクを活用しながら、119番通報、消火、避難訓練を実施しました。

また、今回の訓練場所は消防水利が乏しい地域であることから、消火水の確保方法と警防計画を再確認し、大変有意義な訓練となりました。

今後も地元企業と連携し、発生が予想される自然災害に立ち向かってまいります。



【地元企業による初期消火】



【消防隊による消火活動】

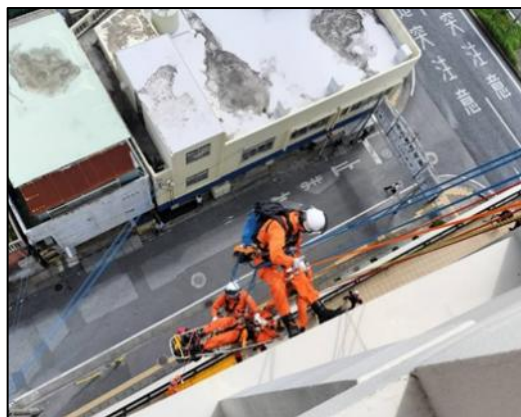
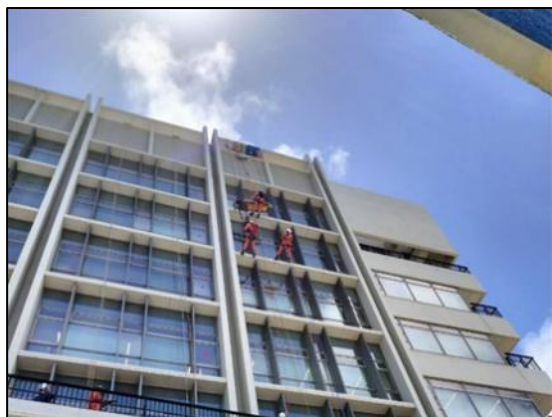
◆ 高層建築物（３８．７４ｍ）において宙づり救助訓練を実施

沖縄市消防本部（沖縄）

沖縄市消防本部では、令和７年６月１０日（火）、コザ信用金庫本店の高層建築物（３８．７４ｍ）において、宙づり救助訓練を実施しました。

当日は、特別救助隊が実践に近い環境下で訓練を実施し、安全管理の重要性、一つ一つの安全確認、連携の大切さを実感したほか、緊張感のある訓練で得た知識と達成感により隊員の自信につながることができ、今後の活動に生かされる貴重な訓練となりました。

今後も、実践に即した訓練と備えを重ねてまいります。



【訓練の様子】

研修

◆ 「オンラインカジノと賭博罪」に関する服務教養を実施

東京消防庁（東京）

東京消防庁北多摩西部消防署では、令和７年６月２日（月）、「オンラインカジノと賭博罪」に関する服務教養を実施しました。

当日は、以前、警視庁生活安全部保安課の管理官として在籍し、オンラインカジノに精通している警視庁東大和警察署長の森浩史氏を講師としてお招きし、最近の摘発状況や、具体的事例などについてご講話いただきました。

また、オンラインカジノは、スマートフォンなどから「いつでもどこからでも簡単に」アクセスできるほか、ゲーム感覚の軽い気持ちで始められ、ギャンブル依存の形成が早い特徴があることについて学ぶことができました。

参加した職員は、自分達の中から犯罪者を出さないという真剣な面持ちで聴講し、オンラインカジノを「利用しない・広めない・誘わない」、賭博にグレーな部分はない、一度手を出せば犯罪、その沼から抜け出せなくなることを強く認識して、絶対にかかわらない決意を新たにしました。



【服務教養の様子】

◆ 「感染防止対策強化研修伝達講習会」を実施

大館市消防本部（秋田）

大館市消防本部では、令和7年6月6日（金）、消防職員を対象とした、「感染防止対策強化研修伝達講習会」を実施しました。

この講習会は、救急振興財団救急救命九州研修所で実施された「令和7年度第1回感染防止対策強化研修」に参加した当消防本部の救急救命士が、職員へ伝達することを目的として実施したものです。

当日は、座学で「感染症の基本」を再確認した後に、実技では、特殊な塗料を活用して、「普段の手洗いによる洗い残し」や「救急活動中における感染源の拡大状況」を可視化し、感染対策への意識の向上を図ることができました。

今後も訓練を継続し、感染対策マニュアルの見直しを図るとともに、感染防止対策のさらなる強化に努めてまいります。



【講習会の様子】

◆ 「移動タンク貯蔵所講習会」を実施

浦安市消防本部（千葉）

浦安市消防本部では、令和7年6月11日（水）、危険物安全週間の一環として、浦安市防火安全協会会員である日輪商運株式会社にご協力いただき、消防署の部隊を対象とした、「移動タンク貯蔵所講習会」を実施しました。

この講習会は、移動タンク貯蔵所の基礎知識と事故発生時の対応方法を学ぶとともに、活動隊員の安全の確保と事故被害の軽減を図ることを目的として実施したものです。

当日は、普段見ることができない移動貯蔵タンク内部の構造を確認したほか、緊急遮断弁を実際に操作し、移動タンク貯蔵所に係る知識、技能を習得することができました。

今後も講習会を継続し、市民の安全・安心の確保に努めてまいります。



【講習会の様子】

そ の 他

◆ 消防協力者に感謝状を贈呈

豊橋市消防本部（愛知）

豊橋市消防本部では、令和7年6月1日（日）、消防協力者の5人に対して、消防長から感謝状を贈呈しました。

本事案は、同年4月28日（月）、市内の路上で発生した救急事案において、軽乗用車が電柱に衝突し心肺停止となった運転者に対して、付近にいた消防協力者の5人が協力し、迅速・的確な119番通報と車内から安全な場所まで救出した後に、近隣の医療機関へ応援要請、適切な胸骨圧迫、AEDを活用した除細動を実施したものです。

運転者は、消防協力者5人の迅速・的確な判断と連携した行動により、現場で心拍が再開し、後遺症もなく社会復帰することができました。



【感謝状贈呈後の記念撮影】

◆ 消防協力者に感謝状を贈呈

海津市消防本部（岐阜）

海津市消防本部では、令和7年6月7日（土）、消防協力者の2人に対して、消防長から感謝状を贈呈しました。

本事案は、同年3月22日（土）、市内で発生した建物火災において、近隣に住む消防協力者の男性2人が連携し、迅速な初期消火活動を行ったものです。

消防協力者2人の迅速かつ適切な判断により、被害を最小限に留めることができました。

今後も市民と連携し、火災予防や消防活動の協力促進に努めてまいります。



【感謝状贈呈後の記念撮影】

◆ 風水害体験エリアをオープン

岡山市消防局（岡山）

岡山市消防局では、令和7年5月23日（金）、岡山市消防教育訓練センター水難救助訓練施設において、風水害体験エリアをオープンし、地元の小学生に体験していただきました。

この体験エリアは、消防職員向けの水難救助訓練施設（水深10mの潜水プール・長さ25mの多目的プール）に、地域住民が風水害の模擬体験ができる学習施設を併設したもので、流水歩行、水圧自動車ドア、風雨などの体験ができます。

今後は、この新たな体験エリアを通じて、風水害の危険性を全身で感じながら、自分や家族の命を守る行動を学んでいただき、防災意識の向上につながることを期待しています。



【模擬体験の様子】

◆ 県消防防災航空隊との連携訓練を公式YouTubeチャンネルで公開

松本広域消防局（長野）

松本広域消防局では、令和7年5月29日（木）、長野県消防防災航空隊との連携訓練の動画を公式YouTubeチャンネルで公開しました。

動画内では、3本のショート動画において、山林などにおける消火と救助活動を主眼とした、同航空隊「アルプス」によるバケット消火、消防職員のヘリ搭乗と地上投入、パーティカルストレッチャーとキャリングラックを用いた揚収訓練を行っています。

訓練を通じて、空と陸の協力体制を確認できたほか、迅速かつ的確な対応力の向上を図ることができました。

今後も、他機関との連携訓練を継続し、地域の安全・安心を支える取り組みを進めてまいります。



【訓練の様子】



【訓練の二次元コード】

◆ 「滋賀安心安全フェスタ2025」を開催

湖南広域消防局（滋賀）

湖南広域消防局では、令和7年5月31日（土）、管内（草津市）の大型商業施設において、自衛隊および警察と合同で、「滋賀安心安全フェスタ2025」を開催しました。

このイベントは、火災予防の啓発を図るとともに、将来、消防職員を目指す子どもたちにアプローチすることを目的として、毎年開催しているものです。

当日は、湖南消防音楽隊のオープニング演奏から始まり、消防車と救急車の展示を行ったほか、制服や防火服の試着体験コーナーなどを設け、多くの方が消防の業務に触れながら楽しんでいただく姿を見ることができました。

また、国民、県民、市民の安全・安心を守る自衛隊、警察、消防の仕事内容を周知することができ、大変有意義なイベントとなりました。



【滋賀安心安全フェスタ2025の様子】

◆ 予防救急に関する「住民講座」を実施

駿東伊豆消防本部（静岡）

駿東伊豆消防本部では、令和7年6月4日（水）、高齢者を対象とした、予防救急に関する「住民講座」を実施しました。

当日は、社会福祉協議会が主催する地域の高齢者が集う「いきいきサロン」と連携し、夏季に向けて多くなる熱中症の予防方法のほか、本年度から全国で実証事業として行われるマイナ救急などに関する講話を行いました。

今後も、高齢者への救急対応が増加することが予測されるため、関係機関と連携し住民への予防救急の普及に努めてまいります。



【住民講座の様子】

◆ 住宅用火災警報器の取り付け支援を実施

西胆振行政事務組合消防本部（北海道）

西胆振行政事務組合消防本部では、令和7年6月5日（木）、伊達消防署管内の一人暮らし高齢者宅において、住宅用火災警報器の取り付け支援を実施しました。

この支援は、令和7年4月1日（火）に施行された、「住宅用火災警報器取付け等支援実施要綱」に基づき、65歳以上の高齢者と身体障がい者の設置困難世帯を対象に実施したものです。

当日は、伊達消防署予防課職員の2人が支援希望者宅を訪問し、寝室にある設置後10年を経過した住宅用火災警報器を取り替えました。

今後も、住宅用火災警報器の設置・維持管理広報の強化を図るとともに、地域における住宅用火災警報器の設置率の向上に努めてまいります。



【取り替え作業の様子】

消防学校からの便り

◆ 災害発生時における外国人の避難支援などに関する講義を実施

青森県消防学校（青森）

青森県消防学校では、令和7年6月11日（水）、公益社団法人青森県観光国際交流機構にご協力いただき、災害発生時における外国人の避難支援などに関する講義を実施しました。

当日は、初任総合教育入校中の学生67人が参加し、県の国際交流員の外国人4人（アメリカ、中国、韓国、台湾）を講師としてお招きし、県内に在住する外国人の現況、災害時に必要な支援、スマートフォンアプリを活用したコミュニケーションスキルなどについて、ご講義いただきました。

講義を通じて、災害発生時において、日本語を話せない外国人にさまざまなツールを活用した避難支援方法などを実践的に学ぶことができ、必要な知識を習得することができました。

今後も、効果的な教育訓練を目指し、講義内容などの充実に努めてまいります。



【講義の様子】

消防庁通知等

◆ 防災規制に係る執務資料の送付について（通知）

（消防予第246号、令和7年6月17日）

消防庁予防課長から各都道府県消防防災主管部長、東京消防庁・各指定都市消防長あてに通知が発出されましたので、お知らせします。

標記の件について、別添のとおり質疑応答をとりまとめましたので、執務上の参考としてください。

各都道府県消防防災主管部長におかれましては、貴都道府県内の市町村（消防の事務を処理する一部事務組合等を含む。）に対して、この旨周知していただきますようお願いいたします。

（別添省略）

—以下省略—

○ 全文は、消防庁ホームページ

（<https://www.fdma.go.jp/laws/tutatsu/items/d4ad78407fd8c21954a4d2dc69ed7ed541e892f7.pdf>）

に掲載されています。

消防庁予防課
予防係 川合、谷川、櫻川
電話：03-5253-7523
FAX：03-5253-7533

◆ 作業中の防火管理に対する注意喚起について

（事務連絡、令和7年6月17日）

消防庁予防課から各都道府県消防防災主管課、東京消防庁・各指定都市消防本部あてに事務連絡が発出されましたので、お知らせします。

平素から消防行政に格別のご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

先般、東京都内で、溶断作業中に発生した火花が建物外壁に沿って立ち上がっている状態において使用されていたアスベストの飛散を防止するプラスチックシートに着火し、階をまたいで延焼する火災が発生しました。本件は、火花を発する作業を行う場合の防火管理が徹底されていなかったことが原因であると考えられます。

—以下省略—

○ 全文は、消防庁ホームページ

（<https://www.fdma.go.jp/laws/tutatsu/items/9f1772a095dd00ad3a356a749971296decfaef77.pdf>）

に掲載されています。

消防庁予防課
予防係 川合、谷川、櫻川
電話：03-5253-7523
FAX：03-5253-7533

情報提供

◆ 第16回消防トライアスロン大会2025の開催について

日本消防トライアスロンクラブ

日本消防トライアスロンクラブ（JFTC）では、標記の大会を下記のとおり開催します。

当大会は、関東を中心に全国から消防トライアスリートにご来場いただいております。

部門（距離）は3種類、初心者から上級者まで選択でき、1人が1種目行うチームリレー、スィムのないデュアスロンタイプやキッズ部門も併設しています。

全国のトライアスロンを楽しむ消防職員・団員・OBの皆さま、大会でお会いし交流を深めましょう。

なお、当大会の参加申し込みはインターネットサイトからとなります。

「<http://teamkens.co.jp>」または大会名で検索してください。

記

- 1 大会名
第16回消防トライアスロン大会2025
- 2 開催日
令和7年10月19日（日）
- 3 場所
埼玉県加須市・渡良瀬遊水地



【昨年のトライアスロン大会の様子】

【問合せ先】

日本消防トライアスロンクラブ会長 東京消防庁トライアスロン部会 熊谷直之

Address : bambooboat23@gmail.com

※ お知らせ

消防本部所在地に変更がありましたので、ご連絡いたします。

【消防本部コード 31717】 流山市消防本部

- 1 所在地
〒270-0122
千葉県流山市大畔410番地
- 2 移転日
令和7年6月23日（月）
- 3 その他
電話番号の変更はございません。

問合せ先

消防総務課 管理係

電話：04-7158-0299

Mail: shoubousoumu@city.nagareyama.chiba.jp

機関誌「ほのお」記事募集

一般財団法人全国消防協会では、機関誌「ほのお」に関して、各消防本部より次の投稿記事を募集しています。

①トップ・セカンド記事

②知識・技術の伝承—教えて！消防技術—

③女性職員の活躍推進

※①・②・③の執筆要領等の詳細は、週間情報（No.0716）1ページ、機関誌「ほのお」2025年4号（4/25発刊）29ページを参照願います。

TEL：03-4500-6622 機関誌「ほのお」担当：企画課 中西

原稿データは、kikakoho@fcj.gr.jpに送信願います。

④消防ワイド

【特徴】

- ・写真中心のビジュアルな広報
- ・紙媒体により記録性に優れる広報

【留意事項】

- ・文章は、Wordで100文字程度で作成をお願いします。
- ・写真は、Wordに貼り付けず、JPEG画像データを1枚送付してください。
- ・消防ワイド、週間情報の両方に投稿された場合、どちらか一方のみの掲載となります。

TEL：03-4500-6622 機関誌「ほのお」（消防ワイド）担当：企画課 児嶋

原稿データは、honoo@ffaj-shobo.or.jpに送信願います。

ご投稿をお待ちしております。

※添付ファイルの容量が5MBを超える場合は、分割して送信願います。

週間情報への投稿は企画課へ！

週間情報では、各消防本部の身近な情報を掲載していますので情報をお寄せください。

【特徴】

- ・原則毎週刊行される、速報性のある広報
- ・文章中心の情報量が多い広報

【留意事項】

- ・配信日（原則火曜日）から前2週間以内のイベント、訓練等を中心に掲載しています。
- ・文章は、Wordで200～400文字程度で作成をお願いします。
- ・写真は、1～2枚をWordに貼り付けて送付してください。
（貼り付けできない場合は、JPEG画像データを送付してください。）
- ・週間情報、消防ワイドの両方に投稿された場合、どちらか一方のみの掲載となります。
- ・掲載が決定した場合のみ、担当者からメールを返信させていただきます。

TEL：03-4500-6622「週間情報」担当：企画課 木原

原稿データは、weekly@fcj.gr.jpに送信願います。